

図書館ホームページの魅力 2

図書館ホームページの魅力というタイトルで書き出そうとしている私ですが、ついこの間までそのホームページを避けていました。私の中で、図書館に流れる昔の人々も愛したであろう静かな知的な雰囲気と、現代のせかせかしたイメージのあるインターネットが、どうも合わないような気がしたからです。蔵書を検索するときも「ホームページを使わなくても十分検索できるから」と図書館に設置されている検索専門のパソコンで調べていました。けれども今年に入って、突然その魅力に気づいてしまったのです。図書館に現代文明は要らないと思っている方、どうぞだまされたと思って一度見てみてください。

私がお勧めするのは、図書館ホームページを開いてすぐにある、サービスの欄です。相互協力運用サービスを開いてください。中でも、国立情報学研究所総合目録データベースがとても便利です。タイトルや著者、出版年などのキーワードを入力し、検索をするだけで、どの大学がその本を所蔵しているのかがわかります。論文やレポートでどうしても必要な本が外大の図書館にないとき、このデータベースで検索し、他大学に問い合わせることも出来るのです。これから卒業論文を書くなど、たくさんの資料が必要な方には、簡単で的確な情報を与えてくれるので重宝できるものだと思います。

また、日本と世界の関係を知ることの出来る、「今、日本と世界は」というページも必見です。世界に目を向けるためには、同時に日本にも目を向ける必要があります。特に外大生は、留学生よりも日本のことを知らず、勉強しようと思うことが多くあるのではないのでしょうか。そんな時、このページを開いてみて、日本に関する問題などを学び、留学生とディスカッションの場を設けるきっかけにしてみようはどうでしょう。どんな図書があるかを知れるだけでなく、知識も増え、英語の学習に深みが増すようになるのではないのでしょうか。

図書館のホームページは、このほかにもたくさんのごたえのあるページがあります。今回はこの二点しか紹介できませんが、まだまだ紹介すべきページがあります。この機会にぜひ、ホームページを開いてみて、京都外国語大学付属図書館の世界へ足を踏み入れてみて下さい。新しい発見をし、これまでとはまた違った図書館の利用の仕方が出来るかもしれません。知らないともったいない、知ればちょっと得した気分になれるホームページへようこそ。

英米語学科4年次生 滝口 翔子